

栃木県知事トップセールスによる販路開拓

シンガポール事務所

栃木県は、10月16日（木）から18日（土）にかけて、県産品をアピールするトップセールスをシンガポールで実施しました。期間中には「Oishii Japan 2014」への出展に加え、日系百貨店でのとちぎ農産物フェアや飲食店でのバイヤー向けの県産農産物等食材提案会を開催しました。

1 見本市で初めての県産品 PR

今年で第3回目を迎える日本食の総合見本市「Oishii JAPAN 2014」には、日本全国から266社・団体が出展しました。このうち栃木県は初めての参加で、「とちぎ和牛」や「にっこり梨」などの農畜産物、県産日本酒や加工食品などを扱う13社・団体が出展し、シンガポールをはじめとするASEAN諸国の流通関係者との商談や情報収集を行いました。

福田知事や参加者は「とちぎ和牛」や「にっこり梨」を来場者にふるまいました。とちぎ和牛は肉質が柔らかく、味覚も優れた霜降り肉で、高級牛として評価も高いとい

った特徴を説明するなど、栃木県産の豊かな食材や多彩な加工食品についてPRしました。

さらに日系レストラングループや日系スーパーを訪問し、栃木県産の農産物等の取扱いについて意見交換を行うとともに、栃木県産食材を使った食材提案会も流通関係者等を集めて開催されました。

2 とちぎ農産物フェアで消費者に PR

10月17日～10月26日に日系百貨店において、（一社）とちぎ農産物マーケティング協会主催による「とちぎ農産物フェア」が開催されました。これは、原子力災害に伴う輸入規制が緩和されたことを受け、シンガポールでの栃木県産農産物等の販路開拓を本格始動させたものです。



栃木県ブースの様子

フェア初日となる 10 月 17 日には、知事一行が会場を訪れ、「にっこり梨」や「なすひかり（米）」、トマト等のPR及び販売促進を実施しました。

大きいものでは 1kg を超え、見た目も味も迫力のある「にっこり梨」を福田知事自ら来場者に提供し、買い物客からは「にっこり梨は、大きくてみずみずしく美味しい。」と好評でした。



店頭で「にっこり梨」を配布する福田知事

3 今後の販路拡大に向けて

香港では平成 24 年 3 月に牛肉の輸入規制が緩和されました。栃木県では国際見本市への出展や商談会、フェア等の開催といった取り組みを通じて、牛肉など県産農産物の輸出が伸びているとのことです。シンガポールの輸入規制緩和を受けた県の積極的な売り込みにより、今後はシンガポールでの販路拡大が期待されます。

(岡田所長補佐 熊本県派遣)

